

母の会の計画

大泉 テイ子

入園前の準備

二月になると、そろそろ、来年度入園児の保護者会を開く幼稚園が多いと思います。来年もまた、より一層よい保育を……と意気込めば意気込むほど、入園までに心掛けてほしいこと、用意してもらいたいもの、等々、幼稚園から母親への註文も多くなるでしょう。入園前の保護者会は、第一回の母の会ともみるべきもので、大部分の母親がこれからの園生活に、希望と期待を

☆ ☆ ☆ ☆

もって集めるのですから、十分に納得のゆくように、期待にそうように会を進めてゆきたいものです。とくに、はじめて幼稚園に子どもを送る家庭では、子どもだけでなく母親も一しょに入園するようなものです。殆んど母親は戦時中か戦争直後に小学校生活を送った方たちですから、今の幼稚園に関しては、目や耳からの知識で一応心得ている程度のもので、実際問題になるとた

いへん心細く不安そうなのがよく分ります。幼稚園は、これからの長い集団生活の第一歩を踏み出すところです。すべてがはじめての経験です。子どもにとっても、母親にとっても大切なこの時期に、間違いく第一歩を踏み出せるように、幼稚園は、遠い将来にまで責任をもつほどの意気込みで、子どもと母親を迎えたいものです。

さて、このような会をもつ場合、おしらせの最後に、「お子さんはなるべくお連れになりませんよう。やむをえない時は、会が終るまで静かに別室か園庭で遊んで待つよう、十分約束してからお連れ下さい」と書きそえてはどうでしょう。

母親が会をもつ場合、子どもはどうしていいかわからないのか、これは幼稚園で最初に親子で守らねばならない社会的ルールです。理くつぬきにはっきりと園の方針をうち出して、最初からお互に守るよう努力する方向に導いてゆけば、案外素直に受け入れられ、効果があがります。

次に、園児の家庭環境を十分に心得ておくこと。入園申込書の記入事項や、家庭の調書などを、もう一度改めて調べますと、

通園地域、家族構成、家族の学歴、生活歴、教育観など、或る程度の認識を深めることができます。その上で話の内容をどのように進めてゆくべきか、自ら方針もたつてくるでしょう。また、新入園児の名前全部憶えて会を迎えることも大切なことです。担任だけでなく、園全体で歓迎の意味からも、園長はもちろん、他の組の担任にも必要なことです。「名前を憶えてもらった」と喜ぶのは子どもだけではありません。おとなでも、憶えてもらえた一事で、急に幼稚園に親しみをもつようになるかもしれません。『○○さんお早よう』、『○○さんこんにちわ』のあいさつが、急に明るく気分を引き立ててくれるかもしれません。

あらゆる機会をとらえて、母親の一人ひとりが園に歩みよってくるように努力してゆきましょう。それには、話しやすい場

と、話しやすいきっかけをつくってあげること、これは母の会を育ててゆく場合、忘れられないことの一つです。

入園前の二ヶ月は調整期に当てましょう。母親によつては試練の二ヶ月になるかもしれません。生まれてから今日まで、めいめいの家庭で、思い思いに育てられてきた子どもたちです。十人十色の子どもたちを、バラバラの状態で四月に迎えるのは、経験を積んだ教師にとつても決して楽な仕事ではありません。まして経験の浅い教師にとつては泣きたくなるような日もあるでしょう。そんな時、一つでも二つでも前もって母親に協力を頼んでおきますと、本当に助かります。例えば、

母親から離れにくい子どもは馴れるまで幼稚園に遊びに連れてくること。天気の良い

母の会の委員

母の会と限定しないで、父親にも祖父母にも是非参加してもらいたいので私たちは

い日には、親子でおべんとうをもって、三才児と一しょに頂くのもいいものです。

安全な通園順路と歩き方の研究、調査、練習をしておくこと。親子で考えてきめた道以外には絶対に歩かないとか、道の横断の約束とか、切実な問題です。

洋服の脱ぎ着がひとりでできるように。通園服を園内で遊び着に着換える場合には、最初から母親に、子どもにできるボタンのかけ方、はずし方、ガウンの着方、たたみ方など、長年の経験から得た最良の方法を伝授します。教師が上手に先導すれば母親は迷わずに協力を惜しみません。これなどは目立って効果の見えるいい例です。このように教師と連絡をとって計画的に進めていけば、お互に助かります。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「いずみ会」と言っています。が、やはり大部分は母親、時々祖母が参加しています。

誰とでも気軽に話し合える場をつくって、多くの方に幼稚園を理解してもらいたいの
が私の願いです。

現代の社会で幼稚園ほど、夢と可能性に溢れている楽園はありません。また母親の中にはすばらしい女性が、ひっそり潜んでいるかもしれません。二、三年も子どもが通園するのに、お互いに知らずに過ぎてしまいうのも残念です。そんなわけで、母の会の委員は全員当番制がよいようです。但し、小さい子どもがいる母親は、事実上無理なので、ひとりっ子、末っ子の母親に限りまず。最初の母の会には、当番制にする趣旨を十分に説明して徹底します。同時に、委員の活動の範囲と方法を、はっきりきめてしまします。誰が委員になっても教師の領域に踏み込むことのないように。どんな場合にも幼稚園が主体であるようになど、事前に一線を劃すことを忘れてはなりません。それには、幼稚園にも徹底した教育観が要求されます。これは園長自身の問題に

もなってきますが。……

一年を左のように、三期に分けて仕事を分担します。

一期（四月～八月）二期（九月～十二月）三期（一月～三月）

それぞれに都合のよい時期を希望して後で人員を調整します。勤めをもつ母親も、家庭に仕事をもっている母親も一様に、ひとりっ子・末っ子の母親であれば例外は認められません。むしろ忙しい母親であればこそ、幼稚園を正しく理解する機会をもつことは望ましいし、他の子どもと同様に世話をしたり、自分の子どもと他の子どもを比較する機会をもつことは必要なことです。

母の会の活動

園外補導

国全体のおとなが、他人の子どもにも自分の子どもと同様に愛情と責任をもって、触れあうようになれば、非行少年の数も減るでしょう。国全体までは及ばなくと

仕事をもっているからといって、他人の世話になることに馴れすぎてしまうのは決してよくないからです。

各組から一期に二名ずつ、会計、図書、記録係を選んでいます。人選には干渉しません。四月、全期の委員が集って年間の計画について話し合い、案をたてて総会にはかって決定します。相談会には必ず園長が出席して会の方向づけをします。集会は母の会総会を除いては殆んどが午前中、保育時間中に母親の集會室で開きます。集會室は保育の妨げにならぬよう保育室と隔離されているのが望ましいようです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

も、せめて幼稚園の中だけでも母親同志手をとりあって、子どもを守ってゆけたら……との願いから、母の会を通して実行してゆくのも大きな効果があがります。二、三例をあげてみましょう。

帰宅時間、子どもが遊びに来た場合、責任をもって帰す申し合わせ、つまり、四時から四時半には片づけさせて、あいさつしてから帰す。これは行儀のいい子どもにする為だけでなく、帰りを確認することは事故防止の面からも大切です。「さようなら」と落ち着いてあいさつして帰る場合は、片づけもせず放りっぱなしで門をとび出す場合よりもはるかに危険が少ないでしょう

○おやつ。母親が工夫しておやつを与えているのに、他家に行っておやつの食べ直し、夕食がはかどらなくて大弱りとの声があつて全員おやつ対策を講じました。皆で言いたいだけのことを言いあって、その結果、原則としておやつは出す必要がない、出す場合は母親同志事前に連絡をとつてある場合だけ、ときまりました。皆できめることなので案外実行に移しやすいようです。

○自転車(二輪車)。幼稚園児に二輪車は危険なので、全員購入禁止を申し合わせま

した。クリスマス、お正月の前にもう一度申し合わせて、自転車のプレゼントは事前辞退することや、子ども同志の相乗りは見つけたら止めさせるなど

○よりみち。幼稚園の帰り途、鞆をもったまま、寄り道したら寄せた方の母親が責任をとることなど、まだまだたくさんありますが相応に効果の上っている例です。自分一人てやきもきしていても仕様がな、母親全部が立ち上つて協力しよう、それには母の会はこの上なくよい組織ですね。

母親文庫と勉強会

毎月一回の母の会では話し合いも限られてしまいます。一貫してまとまった本が安く読めたら好都合です。そんな時、一人で何冊も買うよりは、あるものを活用しよう、と持ち寄った本でできた文庫です。結構利用者があつて一冊十円の貸出料も大分

たまりました。新しい本も何冊か購入できました。来年は母の会の予算をふやして増

冊するつもりです。

一冊の本を回覧したり、めいめいの読後の感想を述べあったりで、勉強会も自然に生まれてくるでしょう。この会に是非仲間入りさせてあげたいのか、問題児といわれる子どもをもつ母親です。楽しく皆と本を読んだり話し合ったりしているうちに、子どもが良い方に変つてゆくようです。「子は鏡」の諺をあらためて考え直します。

バザー

目的をはっきり示して協力してもらいます。ピアノ購入、給食室の整備のように、子どもに直ちにプラスになるようなものに決めます。全委員で参加します。利益をあげる事も大事ですが、母親同志がぐっと親しみをもち、同時に社会的な訓練も身につけるにいい機会です。

講演会

一学期に一回位。今年度の会を参考まで

に例示します。

子どものしつけ 坂西志保氏（評論家）
小学校入学前の準備 大橋富貴子氏

（お茶の水女子大附属小学校）
知能の発達について 桐花教育研究所

行事に参加

月額三〇〇円の母の会費をフルに活用します。費用と労力の協力を受ける主な行事を列挙します。

入園式（新入園児の祝宴）、お誕生会（人形劇グループ、茶菓、準備、片づけ）、遠足（おやつ、附添）、母の日（カーネーション）、父の日（アイスクリーム、カーネーション、会場の準備、接待、片づけ）、夏季プール（おやつ、年少児の水着の着換手伝い）、夏季会宿（食事）、運動会（おみやげ各係）、クリスマス（劇に参加、プレゼントの用意）、もちつき（材料、準備、片づけ、講演会（講師の接待）、お別れこども会（劇に参加）、修了式（祝宴）、お別

れこどもパーティー（食事、準備、片づけ）、その他卒業アルハム製作費、作品整理用スクラップブック費など、その他全園児対象の支出は全部母の会より支出。

クラブの集い

子どもが進学しても幼稚園と縁が切れないように、母親と教師双方の願いで各クラブができました。したがって、在園児の母親と卒園児の母親との混合組です。一年を単位にして計画したり、講師の都合によって期間を決めて行なっています。英語、生花、写真、歴史研究、読書、手芸、保健美容体操、人形劇、など。それぞれ必要があれば園の行事に参加するようにします。クラブに集まる母親は古い卒園児の母親も多く、自然、子どもも中学生になっても幼稚園に来る機会が多いようです。教師の移動が比較的少ないので来やすいのも大きな理由のようです。

製作品のまとめ

修了式間近い一日、年長組の母親が集会室に集まって、年間の子どもの作品の整理をします。その際、園から届く毎月の計画表、週の子定、おたより、連絡帖など、想い出になるものは全部まとめて、スクラップブックに整理します。入園許可書から、こんなものと思うものまで丹念に組み入れ、感想文を挿入して、分厚いスクラップブックができます。冊々々読んでいくと、入園以来、精一杯してきた事がそのまま素直に受け入れられた事が卒直に汲みとれて、今更のように責任を感じてしまいます。以上、不十分ですが母の会を計画なさるに当たって御参考になれば幸いです。

（泉 幼稚園）

* * *

* * *